

第25期第2回常任理事会議事録

日時 昭和63年11月25日(水) 13:30~16:30

場所 東京管区気象台 第1会議室

出席者 浅井, 岡村, 河村, 村上, 木田, 能登, 村松

議題

A. 報告事項

1. 第25期第2回理事会議事録は一部修正の上承認された。

2. 各委員会報告

[庶務]

資料に基づき報告があった。主なものは次のとおり。

ア 10月31日「公益法人の実態調査」を文部省学術国際局学術情報課に報告した。

イ 「気象集誌」のサイズ変更に伴う郵便四種扱いについては、届出の必要は無い旨、郵政省の回答をえた。

ウ 第10回風工学シンポジウム

日時 12月1~2日 場所 日大理工学部幹事学協会 日本鋼構造協会

[会計]

10月分の収支について、資料に基づいて報告があった。

ア 11月4日「気象集誌」電子出版方式の変更に伴う入札を行った結果、UAPに落札した。

イ 基金に関して、日本気象学会の各賞の賞金支出は各賞の基金合計の預貯金配当から支出する。

以上について確認された。

[気象集誌]

ア 「気象集誌」の表紙のレイアウト案が提示された。但し、「気象集誌」の英文タイトルは、頭文字JMSJを大文字にすることを検討している。また、背表紙にページナンバーを入れる。

イ 「気象集誌」Vol. 67, No. 1に気象集誌特別号の広告を入れる予定。

[教育と普及]

12月8日に委員会を開催の予定。

[国際学術交流]

ア 国際学術交流基金について10月15日現在の募金状況報告があった。

イ 団体への募集活動はもう暫く行いが、収束の時期を検討したい。

ウ 将来の基金の運用については委員会で検討し理事

会に提案したい。

エ 来年度上半期の研究集会参加補助金の交付案内は「天気」12月号に出す。なお、IAMAPに参加する人への補助は、応募者の数を見て弾力的に対処したい。

[講演企画]

スペシャルセッションは締切を一般発表より早め、呼掛け人の調整が出来るようにする。

64年春は「大気・地表面相互作用」と「オゾン」の2件の予定である。

[天気]

ア 「天気」の印刷方式を変更することについて編集委員会で検討する。

イ 編集費の軽減をはかることが出来れば、4~5ページ程度の増ページや内容の充実を行いたい。

ウ アンケートを回収中である。

B. 審議事項

1. 会員の新規加入

新規加入個人会員20名、2団体、退会3名が承認された。なお、欧米の会員を増やすため、機関誌などでPRしてはどうかの意見があった。

2. 平成元年度事業計画案・予算案

審議の結果、新年度の新しい提案があれば引続き検討して修正していくこととした。

3. 気象集誌

ア 巻号の表記法について、Vol. 67, No. 1からシリーズナンバー Ser. IIを廃止することを検討している。過去の事情を調べた上、問題がなければ廃止することが承認された。

イ 新しい投稿規定中の会員外の投稿に対するページチャージが学会員より高いことについての趣旨を「天気」で会員に周知することになった。

4. 極域委員会の設立提案

今回の常任理事会で継続審議することになった。

5. 講演企画

ア 大会の講演時間の長短選択方式について。

講演企画委員会から平成元年春の大会において講演時間を7分と15分枠の2種に分け、原則として本人が選択する方式を試行することについて提案があり、検討された。審議の結果、第2種講演の説明のニュアンスを和らげる配慮が必要であるとの意見が出た。この点に慎重に対処することとして、試行することとなった。